

放課後子ども教室研修会

福島県教育委員会（会津教育事務所）

- <目的> 放課後支援事業の先進的な取組の事例発表を聞いたり、成果や課題について協議するなど、実践を学ぶための研修を行い、事業に携わるコーディネーターやボランティア人材の資質・向上を図る。
- <日時> 平成28年7月28日（木） 9：30～15：00
- <会場> 道の駅あいづ 湯川・会津坂下
- <参加者> 75名

事例発表

「西郷村放課後子ども教室の取組 ～成果と課題、そして今思っていること～」

西郷村放課後子ども教室コーディネーター 露木 則子 氏

1 子ども教室のあゆみ

2 子ども教室1日の流れ

子ども教室は、異学年交流の場。

けんかもある。宿題の答えを見せる子、丸写しをする子。ガキ大将、従う子、反発する子…。

時には遊び相手になる。だからいつも動きやすいジャージ姿。



3 活動紹介

- ①風船バレー ②風呂敷でリレー ③全員リレー ④七夕かざり
⑤そうめん流し ⑥福島大の学生との交流 ⑦お月見団子
⑧学習林で落ち葉ひろい ⑨クリスマス会 ⑩節分（鬼の面） ⑪節分
⑫年度末大掃除 ⑬雪遊び ⑭フラフープ ⑮小学校前の草むしり

4 今思っている事

- ・子ども教室に来る子は、学校でも家でも見せない顔を見せる。
- ・家では「早く、早く」とせかされる・・・その反発が子ども教室で出る。
- ・子ども教室では、お母さん役、お兄ちゃん役、お姉ちゃん役、こわいおばあちゃん役がいる。
- ・いつかこの子どもたちが、社会で役立っている姿が見られたら幸せ。

グループ協議

～それぞれの子ども教室の取組での成果や課題、悩みなどについて～

1 グループごとの協議

- ◇ 1～ 3班（コーディネーター等のグループ）
- ◇ 4～ 9班（活動指導員・安全管理員等のグループ）
- ◇ 10～11班（行政のグループ）



2 グループ代表による発表



- 学校との連携が大切。
- プログラムでは、謝礼の確保が難しい。
- 安全管理員等の確保が難しい。
- 気になる子の対応では、学校の先生と情報交換したり、アドバイスをもらったりしている。
- 発達障がいの子には、担当者を決めて指導に当たっている。

- 学校とのリアルタイムの連携が難しい。
- 児童クラブと子ども教室がある場合は、横の連携も今後大切な視点だ。
- 今後、人数の増加等で、使用する教室が変わってくることも考えられる。



3 講師 露木氏によるまとめ

- スタッフは同じ思いで指導することが大切。スタッフ会議で足並みをそろえる。
- 子どもにも親にも、「約束・ルール」をしっかりと伝え守らせることが大切。

科学ワークショップ

「宇宙教育に触れてみよう～社会教育編～」

JAXA（宇宙航空研究開発機構）宇宙教育推進室 主査 渡邊 敦 氏

1 宇宙教育について

「宇宙」という素材を用いた青少年教育のための教育活動

宇宙の不思議や魅力、面白さなどを体験的に学ぶ中で、青少年の持っている興味・関心を引き出し、発展的な未来を築く、次世代のための教育活動

2 科学ワークショップ

宇宙の不思議さ面白さのお話を聞きながら、科学工作に取り組む。

不思議な吹きゴマを作ろう

ラワンの種のモデルを作ろう

ツバメひこうきを作ろう

かさ袋ロケットを作ろう



参加者の声

- 他地区の安全管理員さんとお話できてよかった。今後の活動にいかしていける。
- 科学ワークショップは子どもたちが喜んで手軽に作れるので大変参考になった。
- パワフルな講師の先生の話、すぐに役立つワークショップ、楽しく学びました。
- 科学ワークショップがとても楽しく参加でき、子どもになった気分でした。
子どもの気持ちがあったような気がしました。
- 科学工作は身近にある物で簡単にできるものでしたので教室でも使えそうです。